



兵庫県議会議員

石井ひでたけ



石井ひでたけ県政報告

Vol.103

2023年 春号

発行元:石井ひでたけ事務所

みるみる通信

日々の活動は
ブログを
ご覧ください



躍動する兵庫を築き 未来へ飛躍

第361回定例県議会
一般質問に登壇
—2月24日—

第361回定例県議会が2月13日から3月20日までの36日間にわたり開催され、令和5年度県当初予算案などの重要案件を審議、可決しました。令和5年度は齋藤県政が目指す「躍動する兵庫」への基盤を本格的に築く年であり、その方向性を左右する定例会として議会審議に臨みました。前半戦の山場となる一般質問最終日の2月24日に登壇しました。今任期最後の一般質問であり、齋藤知事が就任後、議場で初めて対峙する舞台でした。その両面から5期20年の議員生活を総括し、県政150年以上にわたり培ってきた豊かで美しく健やかな県土に、齋藤県政がどのような新しい種をまき、しっかりとした幹に育てていくのか、自らの決意も込めて質問しました。その概要を紹介させていただきます。

一般質問の冒頭でもふれましたが、今でも子どもの頃と同じ「心躍る」情熱を持ち続けています。新しい時代を迎え責任ある世代となった今だからこそ、夢を持ち実現する「躍動」する力を原動力に、県政が世界へ、未来へと「飛躍」するように「走り続ける県政のランナー」として挑戦を続けます。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

市町と連携した人口対策について

(1) 人口流出対策における神戸市との連携

石井 神戸に若者や女性を惹きつけるブランドづくりを行うことで、それが種まきとなり、ひいては経済活力や雇用の創出という大きな幹に育っていく。まずは人口流出対策で神戸市との連携を。

齋藤知事 県全体では転出超過だが、ファミリー層に限ると2020年は転入超過。神戸市はファミリー層を惹きつけるものがある。若い世代が力を発揮したい環境づくりを久元市長と連携して進め、市の取組を後押しする。

(2) 県全体への波及について

石井 各地域で個性的なプロジェクトが進んでいる。万博に向けたフィールドパビリオンも新たな種として期待される。大切なのは、神戸市との取組を起爆剤に、各地域をつなぎ若者や女性の流出を防いでいくこと。そのために県が広域調整機能を発揮し、市町と連携して各プロジェクトを発展させていくことが必要。

企画部長 地域に根ざした取組を市町、民間、そして地域の方々と一緒にスクラムを組んで展開する。



令和5年度県当初予算は総額4兆2782億円で、うち一般会計は2兆3597億円にのびます。SDGs、脱炭素化、大阪・関西万博などの動きを兵庫の原動力とし、新時代へ果敢に挑戦する予算として編成されました。

このほか、産業立地条例の改正、ユニバーサルツーリズム条例の制定、犯罪被害者等の権利利益の保護条例、スポーツ行政の所管を知事部局に移管等の議案を可決しました。また、ロシアによるウクライナ侵略が、1年となる2月24日に、戦争の1日も早い終結のため、国に対して「平和の回復に向けた主導的な役割を果たすとともに、ウクライナへの更なる人道支援や復旧・復興のための支援に全力を尽くすことを強く要請する」ことを決議しました。

令和5年度予算編成の視点と重点施策

1 新しい時代の力を育む

兵庫の持続的発展の原動力となる
新しい時代の力を育む

- 教育投資の強化:R5～10、総額300億円 (県立学校の環境充実、部活動応援等)
- 次世代成長産業の立地支援強化
- SDGsの取組の加速(認証事業等)
- スタートアップ支援の強化 (大学生・留学生、多自然地域等)
- 奨学金返済支援の拡充
- 環境創造型農業の拡大等

2 人の流れを生み出す

万博開催や地方回帰の動き等を捉え、
人の流れを生み出す

- 兵庫テロワール旅誘客の強化
- フィールドパビリオンの展開 (磨き上げ、国内外プロモーション等)
- ベイエリアの活性化 (MICE、交流の翼港等)
- 移住推進プロジェクトの展開
- 元町周辺のグランドデザインの策定
- 高規格道路ネットワークの整備等

3 一人ひとりに寄り添う

だれもが安心していきいきと暮らせる
社会に向け、一人ひとりに寄り添う

- 社会的養護経験者(ケアリーバー)の自立支援
- こども家庭センター一時保護所の新規整備
- 不妊・不育症治療支援の充実
- 働き盛り世代の自殺対策
- 犯罪被害者支援の強化
- 介護体制の充実(外国人人材・介護ロボット)
- ユニバーサルツーリズムの推進等

兵庫県立大学の活性化について

石井 2004年の統合以来、総合力を発揮しているが、(統合前の)旧3大学の伝統を中心に置いて、大きな幹へと育てていただきたい。そこで、旧3大学の伝統の継承とさらなる挑戦により、学生が集まる兵庫県の中で全国的にも注目される大学へと成長を。

総務部長 社会の新たな要請や課題に果敢に挑戦することが必要。旧3大学時代から引き継がれる伝統や強みをもとに、次世代リーダーの育成など、世界水準の大学を目指した取組を進めていただきたいと考えている。県としても不断の大学改革に対し、引き続きしっかりと支援していく。

大鳴門橋自転車道開通を見据えた今後の展望

石井 「大鳴門橋自転車道着工へ瀬戸内一周『セトイチ』28年度に実現」との報道があり、兵庫県が2023年にも大鳴門橋への自転車道整備に着手する方針を固めたとのことで、夢のあるプロジェクトに心が躍らされた。大型ハード整備であり、最大限有効活用するためのしっかりとした準備が重要。今後の取組は？

技監 大鳴門橋自転車道の2028年の開通に向け

- ①大鳴門橋自転車道の観光機能の充実
- ②淡路島内の自転車走行環境の整備
- ③「セトイチ」実現に向けた広域的な連携強化を進め、地域活性化につなげる。



大鳴門橋を望む

未来に向けた組織づくりについて

石井 これまで何度も質問してきたスポーツ担当部署が教育委員会から知事部局へ新年度から移管した場合、他の部局との連携が重要となる。横断的な課題に対応するため、柔軟な組織づくりが必要であり、また、職員に権限を与えることで、やる気が起こり、そこから新たなアイデアが生まれ、人材育成にも繋がる。そこで、新たな課題に対応した組織づくりへの見解は？



知事 課題に応じて各部局長のマネジメントの下、予算や人員にも配慮し、人材育成も視野に時代の変遷や社会の変化に応じた柔軟な組織体制を構築する。

サイクルツーリズムの戦略について

石井 自転車を核として地域の活性化に取り組もうとする意欲ある動きがある。県内のサイクルイベントを県の本庁が舵取り役となって県民局・県民センターを経由して、市町とも情報を共有し、調整していくと、さらに効果が上がる。そこで、県全体でサイクルツーリズムを発展させていく取組は？

産業労働部長 スポーツ行政の所管部局をはじめとして県民局・県民センター、市町の連携をより密に、多彩な取組も工夫をしながら、サイクルツーリズムのさらなる推進を図っていく。



一般質問を終えて…

2003年12月の一般質問で本会議デビューを果たしてから今回で18回目の登壇になります。約20年前、新人議員であった私は、2002年4月7日に誕生する設定の鉄腕アトムを例に、「心を躍らされていた未来が現実のものとなった」と述べ、当時小学1年生の子どもを持つ親の一人として「小学1年生の子どもが自分たちの住む町や兵庫県の姿をどのように見て育つのだろうか、私の幼少期のように心を躍らせる時代となるか」との思いを込め、将来の兵庫県の姿を思い描きながら質問を行いました。

当時、小学1年生だった長男は社会人となりました。今回の質問では私より一まわり近く若い齋藤知事に質問し、傍聴席では大学生でZ世代の長女が初めて見守ってくれるなど、時代の流れを感じました。

これまでの総質問数は123問。時々の課題をただしてきましたが、共通するのは、子どもたちが夢を育むことができる今の時代、社会を築き、未来への希望をもって歩いていける将来像を示すこと、要は「人づくり」だったと思います。

今回の質問を書き終え、宝塚にある手塚治虫記念館に足を運んできました。記念館では、同じく50周年を迎えた「デビルマン」や「マジンガーZ」の企画展が行われていました。手塚治虫さんや永井豪さんの存在が、現在では海外でも絶大な人気を誇る日本アニメのルーツだと改めて感じました。まいた種が大きな幹に育ったのです。大切なのは「人づくり」だと改めて実感しました。小さな子どもから、Z世代、そして、さらには私のような「マジンガーZ世代」にも、すべての県民に「躍動する夢ある兵庫づくり」を訴え質問を閉じました。この日はロシアのウクライナ侵略から1年となる日でした。世界に平和が訪れ、すべての子どもたちが夢を育むことができる時代になることを願ってやみません。

飛躍の2004



初めての一般質問(みるみる通信vol.3より)。2004年のテーマは「飛躍」でした。

第361回2月定例県議会

一般質問の詳細や当時の映像については右記QRからご視聴できます。



石井ひでたけ プロフィール

昭和41年4月15日生まれ
B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学(現兵庫県立大学)卒、サラリーマン生活を経て、阪神淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選
平成19年・23年・27年・31年 再選
50歳を機に議会での活動を第2ステージと位置づけ、政党に属さず精力的に活動中。
(趣味)ドライブ、自転車、登山(日本100名山踏破) 駅立ち・道路立ち(2,200回達成!) 他

(現 在) 兵庫県議会議員(5期)
兵庫県議会議会運営委員会 副委員長
公益社団法人ひょうご農林機構 顧問
公益財団法人兵庫県スポーツ協会 評議員
兵庫県自転車競技連盟 会長 他
(主な経歴) 関西広域連合議会 議員(2期)
兵庫県監査委員
予算特別委員会 副委員長
兵庫県産業労働常任委員会 委員長
兵庫県農政環境常任委員会 委員長
ひょうご県民連合議員団 団長 他 要職を歴任



手塚治虫記念館を訪問。アトムを参考に質問のストーリーを構成。

石井ひでたけ 事務所

伊川谷事務所
〒651-2113 神戸市西区伊川谷町有瀬537-3
TEL 078-978-0667
E-mail: ishihidetake@gmail.com

玉津事務所
〒651-2133 神戸市西区枝吉1-215
TEL 078-920-2200
WEB: https://ishiidetake.info



月曜 県政相談会

毎週月曜日の10時から12時まで伊川谷事務所にて「県政相談会」を開催しています。どんでんご意見・ご要望お寄せください。

伊川谷事務所 地図



公務等で不在の場合がありますので、事務所へご確認の上お越しください。